

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあんSchoolホップ		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 10日		令和7年 3月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 26名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 10日		令和7年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	構造化を意識した生活空間を作り、子どもたちが見やすく理解できるよう、環境を分かりやすく整備しています。安心して過ごしやすい空間づくりを心掛けています。	スケジュールボードやイラスト付きの表示などを活用し、「何をするか」が一目で分かるようにしています。活動エリア・休憩エリア・個別スペースなどを物理的に区切り、安心して活動ができるようにしています。	定期的にスタッフ間で環境校正の見直しを行い、子どもたちの変化や成長に応じた最適な空間を目指していきます。
2	支援計画の作成に当たっては児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる全てのスタッフが共通理解を持ち、意見を出し合いながら検討をしています。	子ども一人ひとりについて、スタッフ全員が関わる会議を行い、日々の様子・変化・課題を共有しています。	新人スタッフにも共通理解が持てるよう、支援方針や実践を可視化したマニュアルやチェックリストを整備していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや地域の子ども達との交流が不足している。	安全面や支援体制の違いから、交流を躊躇してしまう。地域の施設とのつながりや関係性がまだ築かれていない。	必要に応じて交流のばを設けられるよう、企画していく。公園遊びなど混ざっても無理のない場を意識して設定していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスあんSchoolホップ

公表日 2025年 4月 8日

利用児童数 26

回収数 10

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	5	1	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	1	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	1	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	1	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	1	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	3	2	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	1	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	1	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	10	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	3	1	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	3	4			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	2	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	2	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	2	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	2	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	2	0	3		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスあんSchoolホップ			公表日	2025年 4月 8日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			物品の整理や環境を整えながらできる範囲で児童のニーズに応じたスペース作りを行っている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		児童が見て分かるような構造化に努めている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動に応じたスペースを確保している。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じて個別で過ごせるスペースを確保している。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎朝の朝礼で支援について会議を行っている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			今回の評価内容を基に改善していく。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎朝の朝礼で情報共有や意見交換を行っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		必要に応じて検討していく。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部講師に依頼し、月1回の頻度で研修を実施している。		
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		あんSchoolのHPにて公表している。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		支援内容やニーズについて適宜ケース検討を実施している。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員間での情報共有・意見交換を行い、共通理解を図っている。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		適宜周知を行い、計画に沿った支援を行なっている。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域との関連も踏まえた支援内容を策定している。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で話し合いを行い、プログラムを考えている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		プログラムが固定化しないよう、職員間で話し合いを行い、新たなプログラムの立案を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		工作などの個々の時間とルールを守って遊ぶ風船バレーなどの集団遊びを組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝朝礼を行い、その日の支援内容について確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後には勤務時間の関係もあり振り返りの時間を設けられていないが、翌朝の朝礼の際に振り返りの時間を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		HUGシステムを活用し、日々の記録をデータで残し、次の支援に生かせるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリングのタイミングで支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		児童が自分で選択できるよう、ツールを準備している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて学校と連携をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		必要に応じて学校との連携を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			相談員からの情報提供はあるが、保育所等との連携は不十分であると感じる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			学校を卒業し、サービスを移行したケースはまだない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			地域の児童発達支援センターとはあまり交流がなく、スーパーバイズを受ける機会は設けられていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			地域のこどもと活動する機会は設けられていない。必要に応じて計画をしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			今後も継続して参加をしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時等に活動の様子を伝えたり、学校や家庭での様子を共有していただいている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		研修の機会があれば保護者へ案内を出している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約の際や変更があった際に保護者に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		本人・家族の意向を確認し、計画に反映させている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		本人・家族の意向を確認し、計画に反映させている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時にお話をするほか、ご希望があれば面談の機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		必要に応じてイベント等の開催を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情の体制を保護者へ周知を行っている。苦情の申し入れがあった際には適宜対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HPやSNSを活用し、情報の発信に取り組んでいる。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		お餅つきや焼き芋など地域の方にも参加をしていただき、こども達も地域に関心を持てるようイベントを企画している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		災害を想定した訓練の実施を行っている。マニュアルは定期的に見直しを行い、対策を周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントの際に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		医師の指示書までではないが、アセスメント時にアレルギーの有無や食事提供について確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		避難訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3	今後一層の周知を行っていく。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎朝の朝礼の際に前日に出たヒヤリハットを共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		外部の講師に依頼をして、虐待防止研修を受講している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		5		個別支援計画へ記載をしていく。	